

学校教育目標：子どもの可能性を最大限に伸ばし、自立と社会参加を目指し、心豊かにたくましく生きていく子どもを育てる

目指す学校像

知的障がい教育の高い専門性を有し保護者や地域から信頼される学校  
10年後を見据え、成長・発展し続ける学校

目指す子ども像

**卒業後の目指す人物像** 校訓：自立・友愛・希望（自分らしく 助け合って 心豊かに）  
自らの役割を果たし、よりよい社会を創る人  
人とかがわりながら、自らの人生を豊かに描き、創る人

**高等部**  
自ら考えて行動する子ども  
社会生活・職業生活のルールを理解し、課題解決に向けた主体的行動ができる  
思いやりと感謝の気持ちを持ち、他者と協働できる  
働くための体力と、健康を意識した生活習慣を身に付ける

**中学部**  
粘り強く取り組む子ども  
生活経験を拡大し、自立と社会参加に必要なスキルを身に付ける  
自他の良さに気付き、自分の役割を果たす  
進んで体を動かし、清潔で健康な体を意識した生活をする

**小学部**  
学ぶ意欲をもった子ども  
興味関心の幅を広げ、自立の基礎となる生活習慣を身に付ける  
安定した気持ちで様々な経験を積み、自分でできることを増やす  
体を動かすことを楽しみ、規則正しい生活リズムを整える

**訪問教育**  
もの・こと・人とかがわり生活を豊かにする子ども  
健康を保つ  
様々な感覚活用  
の力を高める  
ICTの活用や個々の表現手段により  
コミュニケーションの力を高める

目指す教師像

教育的情熱にあふれ、自らを高め続ける教師  
子どもたちのために様々なことに気付き、チームで共有し、協働する教師

学校運営方針：10年後を見据え、子どもとともに成長・発展し続ける学校づくり  
令和7年度学校運営の重点：「一歩前へ！ チャレンジ 小郡特支」

教務部 生徒部 進路部 研修部

<p><b>教務課</b></p> <p>■10年後を見据えたカリキュラム・マネジメントの推進 ○育てたい資質・能力を明確にした指導計画の作成 ○学習指導要領に基づいた学習活動の充実と授業改善 ○諸帳簿等の整理と効果的な運用</p>	<p><b>情報課</b></p> <p>■ICT教育の推進と情報管理の充実 ○校内ネットワーク及びICT機器等の利活用環境の整備 ○ICT機器活用の推進 ○オンライン学習とホームページ</p>	<p><b>生徒支援課</b></p> <p>■児童生徒が自他を認め、支え合う心の育成及び安心・安全な教育活動の推進 ○児童生徒の主体性を育む教育活動の充実 ○危機管理マニュアルの改善や体験・教材を工夫した安全教育の推進 ○いじめの未然防止や不登校児童生徒への支援体制の構築</p>	<p><b>保健課</b></p> <p>■安心・安全な学校生活を送るための保健管理及び環境整備の充実 ○健康な児童生徒育成に向けた保健管理の充実 ○安全で衛生的な給食管理と教室環境整備 ○外部機関・指導医等との連携と職員研修の充実</p>	<p><b>進路指導課</b></p> <p>■一人一人の教育的ニーズとステージに応じたキャリア教育の充実 ○生徒の適切な進路選択のための職業体験等の充実 ○小中高の系統的な進路学習の充実 ○保護者のニーズに応じた進路情報の提供及び地域との連携によるキャリア支援体制の充実</p>	<p><b>企画庶務課</b></p> <p>■保護者・地域等への情報発信と連携の強化 ○子どもを中心に据えたPTA活動の推進 ○学校の近隣地域や関係機関等との連携強化 ○本校の魅力発信による地域の理解啓発</p>	<p><b>研修課</b></p> <p>■教職員の専門性向上と更なる授業改善 ○教職員のキャリアステージに応じた研修とOJTの充実 ○児童生徒の「できた」「わかった」を引き出す授業づくり ○教育実習等の対外研修の計画的な運営と人材育成</p>	<p><b>特別支援課</b></p> <p>■センター的機能と校内支援の充実 ○地域支援・地域連携の充実とその人材育成 ○外部専門家や研修機会等を活用した専門性の向上 ○校内支援体制の整備と充実</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

学校教育目標：子どもの可能性を最大限に伸ばし、自立と社会参加を目指し、心豊かにたくましく生きていく子どもを育てる

目指す学校像

知的障がい教育の高い専門性を有し保護者や地域から信頼される学校  
10年後を見据え、成長・発展し続ける学校

目指す子ども像

卒業後の目指す人物像 校訓：自立・友愛・希望（自分らしく 助け合って 心豊かに）  
自らの役割を果たし、よりよい社会を創る人  
人とかがわりながら、自らの人生を豊かに描き、創る人

高等部

自ら考えて行動する子ども

中学部

粘り強く取り組む子ども

小学部

学ぶ意欲をもった子ども  
興味関心の幅を広げ、自立の基礎となる生活習慣を身に付ける  
安定した気持ちで様々な経験を積み、自分でできることを増やす  
体を動かすことを楽しみ、規則正しい生活リズムを整える

訪問教育

もの・こと・人とかがわり生活を豊かにする子ども  
健康を保つ  
様々な感覚活用の力を高める  
ICTの活用や個々の表現手段によりコミュニケーションの力を高める

目指す教師像

教育的情熱にあふれ、自らを高め続ける教師  
子どもたちのために様々なことに気付き、チームで共有し、協働する教師

学校経営方針：10年後を見据え、子どもとともに成長・発展し続ける学校づくり  
令和7年度学校経営の重点：「一歩前へ！ チャレンジ 小郡特支」

**【学習指導】**

(具体的目標)

- 明瞭簡潔な個別の指導計画の作成と説明及びICT機器を活用した指導の充実
- 具体的方策①  
保護者の願いや合理的配慮の観点の踏まえた見やすい計画を作成し、個に応じた指導の充実を図る。また、個人懇談会等でその成果や課題の補足説明を丁寧に行う。
- 具体的方策②  
ICT機器を積極的・効果的に活用し、個別の学習及びグループ学習等の充実を図る。

**【児童支援】**

(具体的目標)

- 障がいの状態や特性に応じた指導・支援及び家庭（保護者）支援の充実
- 具体的方策①  
学部内の応援体制を生かし、配慮を要する児童への指導・支援及び家庭（保護者）支援の充実を図る。
- 具体的方策②  
学部に児童支援連絡会（月に1回）を設定し、緊急時対応マニュアルや配慮を要する児童等の情報共有及び対応についての共通理解を図る。

**【チーム力向上】**

(具体的目標)

- 学部内や校外の関係機関及び外部専門家との連携の充実
- 具体的方策①  
学年会・学年グループ会（児童支援連絡会を適宜設定）や学年主任会（各学年グループの情報共有）及びICT機器（Classroom等）を活用し、学部内の連携を図る。
- 具体的方策②  
校内の関係分掌等や外部関係機関及び外部専門家等の積極的・効果的な活用及び連携、情報共有（学部会等で報告）を図る。

学校教育目標：子どもの可能性を最大限に伸ばし、自立と社会参加を目指し、心豊かにたくましく生きていく子どもを育てる

目指す学校像

知的障がい教育の高い専門性を有し保護者や地域から信頼される学校  
10年後を見据え、成長・発展し続ける学校

目指す子ども像

卒業後の目指す人物像 校訓：自立・友愛・希望（自分らしく 助け合って 心豊かに）  
自らの役割を果たし、よりよい社会を創る人  
人とかかわりながら、自らの人生を豊かに描き、創る人

高等部

自ら考えて行動する子ども

中学部

粘り強く取り組む子ども  
生活経験を拡大し、自立と社会参加に必要なスキルを身に付ける  
自分の役割を果たし、自他の良さに気付く  
進んで体を動かし、清潔で健康な体を意識した生活をする

小学部

学ぶ意欲をもった子ども

訪問教育

もの・こと・人とかかわり生活を豊かにする子ども  
健康を保つ  
様々な感覚活用の力を高める  
ICTの活用や個々の表現手段によりコミュニケーションの力を高める

目指す教師像

教育的情熱にあふれ、自らを高め続ける教師  
子どもたちのために様々なことに気付き、チームで共有し、協働する教師

学校経営方針：10年後を見据え、子どもとともに成長・発展し続ける学校づくり  
令和7年度学校経営の重点：「一歩前へ！ チャレンジ 小郡特支」

**【学習指導】**  
 (具体的目標)  
 ○学習指導要領に基づく教育課程の実践と改善  
 ○安全・安心が守られる教室環境の整備

●具体的方策①  
 単元一覧表に基づいた系統性のある年間指導計画を作成する。生徒の実態に合わせた行事計画と実施後の課題に基づいた修正を図る。

●具体的方策②  
 教室や特別教室・廊下等の整理整頓を月に一回実施し、危険物の収納方法を点検する。

**【生徒支援】**  
 (具体的目標)  
 ○自立と社会参加に必要な資質・能力を育てる指導・支援の充実  
 ○自己肯定感を育み、互いの良さを認め合う態度の育成

●具体的方策①  
 施設見学、調べ学習、現場実習を軸とした総合的な学習の時間における3年間の系統的な進路学習を実施する。

●具体的方策②  
 委員会活動や学部集会で生徒が活躍する場を設定し、一人一人の可能性を伸ばす。

**【チーム力向上】**  
 (具体的目標)  
 ○学級、学年を超えた学部職員チーム作りと家庭、地域、関係機関との連携及び支援体制の充実

●具体的方策①  
 学部朝礼等を利用し、短時間の打ち合わせで継続的に生徒の情報共有を行い共通理解を図る。

●具体的方策②  
 生徒の将来を見据えた支援体制制作りのため、必要に応じて担当者会やケース会議を行い保護者・外部関係機関との連携を図る。

学校教育目標：子どもの可能性を最大限に伸ばし、自立と社会参加を目指し、心豊かにたくましく生きていく子どもを育てる

目指す学校像

知的障がい教育の高い専門性を有し保護者や地域から信頼される学校  
10年後を見据え、成長・発展し続ける学校

目指す子ども像

卒業後の目指す人物像 校訓：自立・友愛・希望（自分らしく 助け合って 心豊かに）  
自らの役割を果たし、よりよい社会を創る人  
人とかかわりながら、自らの人生を豊かに描き、創る人

高等部

自ら考えて行動する子ども  
社会生活・職業生活のルールを理解し、課題解決に向けた主体的行動ができる  
思いやりと感謝の気持ちを持ち、他者と協働できる  
働くための体力と、健康を意識した生活習慣を身に付ける

中学部

粘り強く取り組む子ども

小学部

学ぶ意欲をもった子ども

訪問教育

もの・こと・人とかかわり生活を豊かにする子ども  
健康を保つ  
様々な感覚活用の力を高める  
ICTの活用や個々の表現手段によりコミュニケーションの力を高める

目指す教師像

教育的情熱にあふれ、自らを高め続ける教師  
子どもたちのために様々なことに気付き、チームで共有し、協働する教師

学校経営方針：10年後を見据え、子どもとともに成長・発展し続ける学校づくり  
令和7年度学校経営の重点：「一歩前へ！ チャレンジ 小郡特支」

### 【学習指導】

(具体的目標)  
○卒業後の自立と社会参加に必要な力の育成を目指す学習指導の実践と改善及び学習保障

- 具体的方策①  
生徒の実態及び進路先で求められる力を把握して、単元一覧表をもとに学習内容を整理し支援の手立てを工夫する。
- 具体的方策②  
多様な生徒の実態に応じて、ICT機器の活用を含めた教材教具の工夫改善とオンライン授業の実施等で生徒の学習を保障する。

### 【生徒支援】

(具体的目標)  
○生徒の安全・安心に留意しながら、個々の課題に対して主体的に取り組む態度の育成

- 具体的方策①  
ユニバーサルデザインの視点による教室等内外の環境整備及び生徒が互いを認め、支え合う力の育成を実践する。
- 具体的方策②  
個々の力を伸ばすとともに体験や集団活動、話し合いの機会を多く取り入れる等、進路実現に向けた社会性の伸長を目指す支援を行う。

### 【チーム力向上】

(具体的目標)  
○学部職員及び家庭・地域・関係機関との連携の充実

- 具体的方策①  
保護者や外部との対応を真摯に行い、迅速に学部内で情報共有を図り、生徒支援に活かす。
- 具体的方策②  
学部朝礼や学部会、学年会、学年主任会及び端末（Classroom）等を活用して生徒の情報や支援方法を共有し、学級学年を超えた学部1チームによる支援体制を整える。